

2022 年 9 月進入

総合機械工学専攻

安倍 悠朔

I. 論文

なし

II. 研究発表

1. 安倍悠朔, 松田佑, “単一粒子計測法を用いた 細孔内における粒子挙動の研究”, 日本機械学会年次大会 2022, 富山, 口頭, 2022.
2. 富岡直毅, 安倍悠朔, 松田佑, “単一粒子計測法を用いた細孔内における粒子挙動の研究”, 日本機械学会年次大会 2022, 富山, 口頭, 2022.
3. Yusaku Abe, “Modeling and manipulation of self-assembly process toward controlling functional molecular pattern formation”, OIST Workshop “Recent Trends in Microrheology and Microfluidics”, Japan, Poster, 2023.
4. Yusaku Abe, “Modeling and manipulation of self-assembly process toward controlling molecular pattern formation”, Global Young Scientists Summit (GYSS) 2023, Singapore, Poster, 2023.
5. 安倍悠朔, 松田佑, “感圧/感温塗料を用いた可視化計測技術”, Nano tech 2023 第 22 回国際ナノテクノロジー総合展・技術会議, 東京, ポスター, 2023.
6. 安倍悠朔, 古頭健吾, 松田佑, “感温塗料を用いた三次元熱計測手法の研究”, IIP2023 情報・知能・精密機器部門 (IIP 部門) 講演会, 福岡, 口頭, 2023.
7. Yusaku Abe, Yu Matsuda, “Visualization of quantum dots' diffusion inside silica gel”, 8th Thermal and Fluids Engineering Conference (TFEC2023), Online, Oral, 2023.
8. Yusaku Abe, Naoki Tomioka, Yu Matsuda, “Study on quantum dots' diffusion inside silica monolith”, 20th International Symposium on Flow Visualization (ISFV20), Netherlands, Oral, 2023.
9. 富岡直毅, 安倍悠朔, 松田佑, “バイオミネラル材料内における微粒子の拡散現象の可視化計測”, 第 51 回可視化情報シンポジウム, 北海道, 口頭, 2023.
10. 安倍悠朔, 富岡直毅, 松田佑, “シリカモリス内部における量子ドット拡散過程の可視化”, 第 51 回可視化情報シンポジウム, 北海道, 口頭, 2023.
11. コウブンキン, 安倍悠朔, 仲野駿佑, 松田佑, 砂見雄太, “微細孔を施した感圧・感温性ナノシートの評価”, 日本機械学会年次大会 2023, 東京, 口頭, 2023.
12. 安倍悠朔, 富岡直毅, 松田佑, “シリカモリス内における量子ドット拡散挙動の研究”, 日本機械学会年次大会 2023, 東京, 口頭, 2023.

III. 2022 年度の研究概要

本年度は単一粒子計測法を用いた多孔質体内部における粒子の拡散挙動について詳細な検討を行った。本研究の結果、量子ドットをはじめとした微粒子は多孔質体内において拡散と吸着を繰り返していることなどが明らかになった。

IV. 2023 年度の研究目標

2023 年度は単一粒子計測法によって取得した粒子の拡散挙動データをより詳細に解析することで、多孔質体内部における粒子の拡散・吸着メカニズムを解明することを目指す。